

第49回定期大会



越教組ニュース

越谷市教職員組合情宣部
kosikyouso.sakura.ne.jp
15. 5. 26 (水)
Tel 988-3281
Fax 988-3283

五月九日(土)、第四九回越教組定期大会が開かれました。大会には市長からもメッセージが寄せられ、来賓として四団体七名の出席、挨拶をいただきました。超過密・長時間労働が放置される中で、それぞれが職場の課題に対し粘り強く活動する様子が報告されました。

ハラスメントの根絶を

◆ 今年の大会での特徴は、ハラスメントに関する意見が多かったことです。市教委も「防止要綱」を作り、関心を高めているものの、意識がまだ低いと言わざるを得ません。

《発言》

◆ 職場でセクハラがあった。セクハラは、処罰の対象であるということが初任者向けの文書に書かれているにも関わらず、加害者には指導・注意だけで、文書に記載されていないような処罰がなかった。越谷市では「防止要綱」もあるのだから、市に訴えさせれば、それに沿って処罰があつて当然ではないか。

◆ そもそも各学校に設置されるはずのハラスメント「相談員」を決めてない学校も多い。相談員の役割もきちんと知らせるべきだ。

再雇用 多様な働き方を認めよ

◆ 横暴な管理職が多い。提案がいつの間にか決定事項になってしまふ。また、自分の意にそわないとよく怒鳴る。怒鳴るのはやめてほしいと申し入れている。

《発言》

◆ 管理職による心ない言葉で心を痛めている職員が多い。心療内科に通院する人の中にも、そのことが原因の場合が多いと、同僚と話をし分かった。「防止要綱」を生かしていきたい。

再任用の問題も私たちの働き方に直結するものです。県で認められているのに越谷では適応されていない「分割した形態での勤務実現」を求める声も複数ありました。

《発言》

◆ 越谷では再任用の形態としてフルタイムしか認めていない状況だ。県では多様な働き方を認めている。近隣では、吉川市や三郷市で実施している。私も非常勤講師という形

長時間労働時間の解消を

◆ 長時間労働解消にむけての活動は、今年も最重要課題です。

《発言》

◆ 昨年六月の市教委交渉で、長時間労働時間に対して

◆ 同じ思いだ。再任用に対して不安が大きい。元の学校で勤務できるのか分らないと校長に言われている。管理職の方が再任用で優先

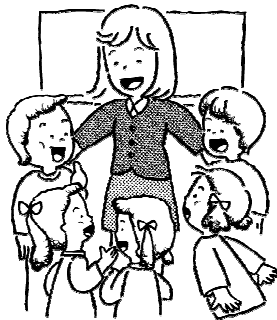
◆ 同じ思いだ。再任用に対して不安が大きい。元の学校で勤務できるのか分らないと校長に言われている。管理職の方が再任用で優先

◆ 同じ思いだ。再任用に対して不安が大きい。元の学校で勤務できるのか分らないと校長に言われている。管理職の方が再任用で優先

学習会

《発言》

◆ 年三回の学習会はどれもよかった。具体的ですぐに役立つ。若い人にも伝えようと思う。



◆ 年三回の学習会はどれもよかった。具体的ですぐに役立つ。若い人にも伝えようと思う。

学習会へのおさそい

埼玉作文の会・越教組 共催

作文教育研究会 ・センセのがっこ。

日時 6月20日(土) 13:30~16:30
場所 コミュニティーセンター第4会議室 受付 13:10~

報告1 子どもとつながり 子どもをつなげる

4年生の詩・日記・作文指導
提案者 駒崎洋子さん(越谷市)

報告2 教科書の作文教材にどう向き合うか

出版社「光村」 2年生「詩」
6年生「随筆」
提案者 福田重夫さん(さいたま市)

大会後、退職者からのあいさつ

